※令和４年度以降入学生用

学校番号	3008

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　標準文学国語」第一学習社）						
副教材等	「漢字能力検定 7～2 級対応 書きたくなるアシスト常用漢字」（数研出版）など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・予習と復習を繰り返し、国語力の定着を図りましょう。
・ノートを使用します。就職や進学に備えて、正確かつ丁寧に文章を書く力を身につけましょう。
・有名な作品に親しみながら国語に関する知識を身につけ、作品の背景や心情を正しく理解しましょう。
・自分が考えたこと、感じたことは積極的に発言し、文章で表現することを心掛けてください。
・提出物は内容をよく確認し、期限を必ず守るようにしてください。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。
・創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。
・言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	構成、展開、場面設定などを的確に捉える ［教材］ 調律師のるみ子さん	a：読書の意義と効用を理解している。 b[読]：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉えている c：主人公が求めていたことについて、積極的に自分の考えをまとめようとしている。	定期考査	ワークシート 振り返りシート 定期考査	行動の観察 ノート点検
	異なる時代に成立した物語を読む。 ［教材］ こころ	a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：異なる時代に成立した物語を読むことで、時代背景やものの考え方を読み取っている。 c：登場人物の人物像や心情に興味を持ち、読み取ろうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	行動の観察 ノート点検
2学期	時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追う。 ［教材］ 相棒	a：時間の経過や文字や言葉の変化について理解を深める。 b[読]：時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を捉えられている。 c粘り強く読み取り、「相棒」という題名の意味を考えようとしている。	小テスト 授業プリント	ワークシート 定期考査	行動の観察 ノート点検
	表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅を考える。 ［教材］ ナイン	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]：登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察している。 c：小説における「わたし」の役割について、積極的に自分の考えをまとめようとしている。	小テスト 授業プリント 定期考査	記述の点検 定期考査	行動の観察 ノート点検
	人間、社会、自然などに対するものの見方を深める。 ［教材］ デューク	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、人間、社会、自然などに対するものの見方を深める姿勢を養う。 c：主人公の心情が表現されている部分を注意深く読み取り、自分なりの表現を積極的に考える。	小テスト 定期考査	ワークシート	行動の観察 ノート点検
	作品に関連のある事項について調べ、文章にまとめる。 ［教材］ 食事	a：常用漢字に読み慣れ、文や文章の中で使う。 b[書]：作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 c：進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	小テスト 授業プリント 定期考査	ワークシート 振り返りシート	行動の観察 ノート点検
3学期	内容を多様に解釈する方法を学ぶ。 ［教材］ 鼻	a：文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b[読]：内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を身につける。 c：典拠となった説話と読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	小テスト 授業プリント 定期考査	記述の点検 振り返りシート	行動の観察 ノート点検
	複数の作品を基に、自分の考え方をまとめる。	a：書かれた背景を踏まえ、作品に託された思いを読み取る。	小テスト 授業シート	記述の点検	行動の観察 ノート点検

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 死んだ男の残したものは	b[書]：関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を文章にまとめる。 c：繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	定期考査		

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間